

学校だより

令和8年(2026年)
9月25日 第10号

みどりっ子

〈よい子 強い子 みどりの子〉

伊丹市立緑丘小学校
校長 村上 大介

☆令和8年度全国学力・学習状況調査結果について

4月23日(木)に実施された「全国学力・学習状況調査」(6年生対象)の結果が公表されましたので、本校の結果の傾向についてお知らせいたします。

この調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ですが、1年生から6年生までの積み重ねが「学力」および「生きる力」の向上につながっています。どの学年にも通じる内容としてご一読ください。

1 調査内容

(1) 学力に関する調査【国語・算数それぞれ45分】

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

(2) 学習状況に関する調査【児童質問紙】

小学校第6学年の児童対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

2 調査結果

(1) 学力に関する調査結果について

①【国語】の正答率は、全国平均および兵庫県平均を上回りました。

・個別に見ると知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」が特に優れていました。また、問題形式で見ると、選択式、短答式、記述式の3つに分けられますが、どの問題も全国平均を上回っています。これまで行ってきた「話すこと・聞くこと・書くこと」を大切に学習の取り組みの成果であると考えます。

②【算数】の正答率は、全国平均および兵庫県平均を上回りました。

・個別に見ると「数と計算」「測定」「図形」「変化と関係」「データの活用」の領域がありますが、どの領域も全国平均を上回っているか、平均と同等でした。

また、国語と同様に、問題形式で見ると、選択式、短答式、記述式の3つに分けられますが、どの問題も全国平均を上回っています。

(2) 学習状況に関する調査結果について

①肯定的な回答が、全国平均よりも上回っている主な項目

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」
- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」
- ・「友だち関係に満足していますか」
- ・「学校の授業時間以外に普段1日あたりどのくらい読書しますか」の質問で30分以上の人が全国平均よりも高かった。
- ・「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」
- ・「算数の授業内容はよくわかりますか」

②肯定的な回答が、全国平均よりも下回っている主な項目

- ・「朝食を毎日食べていますか」
- ・「毎日同じくらいの時間に寝ていますか」
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」
- ・「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」
- ・「国語の勉強は好きですか」

「友だち関係に満足していますか」「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」の項目で全国よりも肯定的意見が多かったのは嬉しいことでした。学校生活を送る上で、安心して友だちと関わるができることや、自分の考えや思いを発言できる環境があることは、子どもたちの成長にとってとても大切なことです。日頃から子どもたちを温かく見守っていただいている保護者のみなさまの支えにも感謝しております。

一方、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の項目では、肯定的な意見が、全国より下回っています。自分とは異なる考え方や価値観に触れることは、新たな発見や学びにつながります。「なるほど、そのような考え方もあるのか」と相手の考えを受け止めたり、自分の考えと比べたりしながら、互いを認め合える力を育てていくことが大切です。今後も、1人ひとりの思いや考えを大切にしながら、多様な意見を尊重し合える学級・学校づくりを進めてまいります。

また、「自分にはよいところがあると思いますか」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の項目では、肯定的意見が全国より下回る結果が見られました。自分とは異なる考え方や価値観に触れることは、新たな発見や学びにつながります。「なるほど、そのような考え方もあるのか」と相手の考えを受け止めたり、自分の考えと比べたりしながら、互いを認め合える力を育てていくことが大切です。今後も、一人ひとりの思いや考えを大切にしながら、多様な意見を尊重し合える学級・学校づくりを進めてまいります。

学習面においては、「算数の勉強は得意ですか」の質問で肯定的意見が全国よりも高く、「算数の授業内容はよくわかりますか」の項目についても高い結果となりました。一方、「国語の勉強は得意ですか」「国語の勉強は好きですか」の項目では、全国よりも数ポイント低い結果でした。

学習への意欲や理解は、「好き」という気持ちと深く関わっています。「好きこそ物の上手なれ」との言葉のように、子どもたちが学ぶ楽しさを感じながら力を伸ばしていけるよう、

①学習に興味や関心をもてる授業づくり

②「わかった」「できた」を実感できる授業づくり

③さらに挑戦してみたいという意欲を引き出す授業づくり。
を大切にしながら、教職員一同取り組んでまいります。

3 今後の取り組み（今までの継続も含めます）

（1）学校において

①書くことの習慣を身につける

・授業の終わりに、振り返りを書く時間を設け、自分の考えや学んだことを文章で表現する機会を大切にしています。国語だけでなく、どの教科においても「書く活動」を積み重ねることで、考える力や表現する力を育てていきます。

②読書に親しむ子どもを育てる

・今年度から学期ごとに、たくさん本を読んだ児童を全校へ紹介しています。本校は、図書ボランティアの皆様が、日々子どもたちの本好きを増やす取り組みをしてくださっています。これからも本を読むことの価値を高め、本に目が向くようにしていきます。

③朝のモジュール学習の充実

・毎朝、8時35分から10分間、モジュール学習の時間として活用しています。算数または国語の基礎基本の定着を図るとともに、週に1回は読書タイムとして、学年の実態に応じて計画的に取り組んでいます。

（2）家庭において（それぞれの児童に合わせてできる範囲でお願いします。）

①家族も一緒に読書したり、共通の話題で会話したり、少しでも目を見て会話の時間を持ってくださると嬉しいです。

②家庭での学習時間の目安を示し、毎日続けることを目指してほしいです。
（宿題・習い事も含めて）。

1・2年生：30分、 3・4年生：60分、 5・6年生：60分＋α

4 全体を通して

○生活面においては、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対する肯定的な回答が全国平均を上回る結果となりました。将来への見通しを持つことが難しいと感じられる時代だからこそ、子どもたちが自分なりの夢や目標をしっかりと抱いていることは、大変素晴らしいことだと考えています。今後も教職員一同、子どもたち一人一人が安心して自分の思いや夢を語り、その実現に向けて意欲的に学ぶことができる授業や学校環境づくりに努めてまいります。

○一方で、「毎日朝食を食べていますか」や「決まった時間に就寝していますか」といった生活習慣に関する項目については、全国平均をやや下回る結果となりました。しかし、この3年間の推移を見ると、ほぼ全国平均と同程度、あるいはそれを上回る状況を維持してきています。こうした結果からも、保護者の皆様が日々の生活リズムを整えるためにご尽力くださり、忙しい朝にも朝食の準備をして子どもたちを学校へ送り出してくださっていることがうかがえます。日頃からのご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

○今回の調査結果は、子どもたちの状況を把握するための一つの指標であり、学校生活や学習状況のすべてを表すものではありません。しかしながら、この結果を真摯に受け止め、本校の取組の成果や課題を分析しながら、継続すべきことと改善すべきことを明確にしていきたいと考えています。

○今後も、保護者の皆様、地域の皆様、そして学校運営協議会の皆様と連携し、子どもたちが安心して学び、健やかに成長できる学校づくりを進めてまいります。引き続き、本校の教育活動に対するご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。